

2024年版

飼料作物栽培カレンダー

奨励品種で収量アップ！自給飼料の増産に取り組みましょう！



春播き用			◎:播種期 ×:収穫期												栽培管理上の要点・留意点									
草種	系統	奨励品種	特性	参考乾物収量*	4月 上中下	5月 上中下	6月 上中下	7月 上中下	8月 上中下	9月 上中下	10月 上中下	11月 上中下												
トウモロコシ	早播き用	(選定中)	—	—	◎ 播種	◎	—	—	—	—	—	—	—	播種量 2~2.5kg/10a	栽培様式 点播(条間70~80cm、株間20~30cm)	施肥設計	(10a当たり)							
スーダン型ソルガム	サイ青刈り用	元気ソルゴー	桿径が細くロールペール適正に優れる	1,353 (2回刈り)	◎ 播種	◎	—	—	—	—	—	—	—	①ラッソー乳剤 ②ゴーゴーサン乳剤 ③ゲザノンゴールド	牛ふんたい肥等 (3,000kg)	5.1kg	8.4kg	14.4kg	元 肥	化学肥料等	6kg	—	—	
スーダングラス	乾草、青刈り用	ハイスーダン	細茎で分げつが多く、早播により安定多収となり、乾物率も高い。	1,085 (2回刈り)	◎ 播種	◎	—	—	—	—	—	—	—	②ゴーゴーサン乳剤 (スーダングラスは使用できない。)	病害虫防除 ごま葉枯れ病、紋枯れ病等が多発する圃場は連作しないこと 近年、県内でも「ツマジロクサヨトウ」の発生が見られることから早期発見、早期防除に努めること	追 肥注)	3kg	—	—	注)追肥は葉齢8~10葉期頃に施用する。	(10a当たり)			
ローズグラス	カタンボラ	—	茎が細く多葉で、青刈り給与の他、容易に良質の乾草調製が可能。	—	◎ 播種	◎	—	—	—	—	—	—	—	③ゲザノンゴールド ※ゴーゴーサン乳剤30をソルガムに使用する場合は、覆土を3cm以上とする。また、散播では使用しない。夏播きでは薬害が発生することがある。	収穫適期 出穂前	施肥設計	(10a当たり)				注1)追肥①:葉齢10葉期までに施用する。	注2)追肥②:刈り取り後に施用する。	注3)追肥③:2番刈り後に施用する。	注)追肥は葉齢8~10葉期頃に施用する。
WCS用稻	モグモグあおば (中晩生)	長稈だが稈が太く耐倒伏性に優れている。「ニシアオバ」より多収でサイレージ用としても飼料用米としても利用できる。	—	(乾田直播栽培の場合) 播種 → 入水 → 中干し → 間断灌水 → 落水 → 収穫												施肥設計	(10a当たり)							
タチアオバ (極晩生)		倒伏に強く直播適正も高い。また、ホールクロップ収量が非常に高く、子実収量も比較的多収である。	—	(湛水直播栽培の場合) 播種 → 入水 → 中干し → 間断灌水 → 落水 → 収穫												施肥設計	(10a当たり)							
たちあやか (中生)		着粒数は「クサンホシ」の半分以下で穂の割合が低い。重心が低く、黄熟期を過ぎても倒伏しづらく、収穫可能な期間が長い。糖分含量が高く、発酵品質及び嗜好性が良い。	—	(移植栽培の場合) 移植 → 中干し → 間断灌水 → 落水 → 収穫												施肥設計	(10a当たり)							
たちすずか (極晩生)		—	(移植栽培の場合) 移植 → 中干し → 間断灌水 → 落水 → 収穫												施肥設計	(10a当たり)								

※参考収量は県畜産試験場における栽培試験結果の平均値であり、圃場条件や天候により実際の収量とは異なるため、あくまで目安としてご利用下さい。

※農薬の使用方法については、ラベル等の使用上の注意点を御確認のうえ御使用ください。

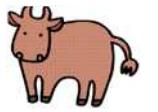
秋播き用

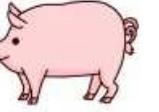
草種	系統	奨励品種	特 性	参考収量※ (10a当たり収量)	◎:播種期 ×:収穫期												栽培管理上の要点・留意点											
					8月 上	中	下	9月 上	中	下	10月 上	中	下	11月 上	中	下	12月 上	中	下	1月 上	中	下	4月 上	中	下	5月 上	中	下
エンパク	-	スーパーイヤテ「隼」	乾物収量が多く、耐病性にも優れる。					◎	◎																			
イタリアンライグラス	極早生種	あかつき	直立型で、耐倒伏性に優れる。	1,071 (2回刈り)																								
		kyushu1	いもち病に強い。	1,300 (2回刈り)																								
	早生種	ワセユタカ	早春までの収量が多く、水田裏作に適する。	1,196 (2回刈り)					◎	◎																		
		タチワセ	直立型で、耐倒伏性に優れる。	1,382 (2回刈り)																								
		いなづま	分けつが多く多収であり、再生力も良好。	1,210 (2回刈り)																								
	中生種	タチムシャ	直立型で多収であり、耐倒伏性に優れる。	1,309 (2回刈り)																								
		マンモス イタリアンB	分けつが多く多収で、収穫適期が長く、幅広い利用が可能。	1,306 (2回刈り)																								
	晩生種	ジャイアント	再生力が強く、長期利用に適している。	1,169 (2回刈り)						◎	◎																	
		エース	ややほふく型で、太茎で葉が大きく、再生力が旺盛で多収である。	1,180 (2回刈り)																								
		テティラ	多収で、耐倒伏性に優れ、長期利用に適している。	1,482 (2回刈り)																								

その他

草種	奨励品種	特 性
ヒ 工 類	イタリアンミレット	発芽と初期生育に優れ、短期間で収穫でき、乾草利用に適しているが、再生せず、耐湿性は劣る。
	青葉ミレット	草丈が高く多収で、再生も良好である。
ペレニアル ライグラス	ヤツナミ	比較的短命な永年性牧草であり、品質はイタリアンライグラスに類似し、嗜好性は良い。
バヒア グラス	ペンサコラ	嗜好性良好な暖地型永年牧草で、放牧地に適する。
アカ クローバー	ケンランド	草丈が高く、耐暑性に優れるが、耐寒性は劣る。
白 クローバー	フィア	葉部の繁茂が旺盛で、再生力も旺盛がある。
センチピートグラス		ノシバより発芽・初期生育が早く、葉幅も広く多収であり遊休農地等の草地化に有望な草種である。

自給飼料・土壌分析のすすめ






自給飼料の栄養価や品質は、同一の草種・品種であっても、栽培条件、収穫時期、貯蔵の状態等によって大きく変動しますので、**自給飼料を分析し、成分を確かめて給与技術の改善・向上に努めましょう！**

また、長年にわたり飼料作物を栽培したり、家畜ふん尿を多量に施用している圃場では、土壤中の成分バランスが崩れていることがありますので、**3年に一度は土壌診断を行いましょう！**

分析項目
(自給飼料)
・水分・粗たん白質・粗脂肪・粗繊維・硝酸態窒素
・りん・カリウム・カルシウム・マグネシウム

(土壌)
・pH・カリウム・全窒素・陽イオン交換容量・可給態りん酸
・腐植・カルシウム・塩基飽和度・中和石灰量・マグネシウム
・硝酸態窒素

自給飼料に関する質問や飼料等の分析に関する問合せは、最寄りの農業振興センター、畜産試験場等へお尋ねください。

- 農林事務所農業振興センター
 - 佐城農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0952-45-8888
 - 三神農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0952-52-1231
 - 東松浦農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0955-73-1121
(上場振興担当)
 - 西松浦農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0955-23-5128
 - 杵島農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0952-84-3625
 - 藤津農業振興センター (水田農業・畜産担当) 0954-62-5221
- 畜産試験場 (大家畜部 大家畜研究担当) 0954-45-2030
- 農業技術防除センター (0952-45-5297)
- 県畜産課 (酪農・中小家畜振興担当) 0952-25-7122

佐賀県農林水産部畜産課

佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>